

―農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する手法 GAP―

（公社）静岡県茶業会議所『T-GAP』が JGAP 同等性認証を取得しました。

本日、日本 GAP 協会（理事長：木内博一）は、（公社）静岡県茶業会議所の『T-GAP+J』が JGAP 同等性認証を取得したことを発表しました。

承認された JGAP 同等性を有する GAP の基準	T-GAP+J【茶栽培編】第 1 版 T-GAP+J【荒茶工場編】第 1 版
上記の著作権者	公益社団法人静岡県茶業会議所
対応する JGAP 基準	JGAP 茶 2012



12 月 6 日 静岡県での試行現地審査の様子（T-GAP+J を使用し、JGAP 審査員が模擬審査）

***T-GAP が JGAP 同等性認証を取得したことにより実現すること**

- ・ JGAP と T-GAP の差異が明確になります。
- ・ 差異部分に追加で取り組むことにより、T-GAP の取り組みであっても JGAP 認証を取得可能。
- ・ 静岡県の農場・茶工場がこれまで受けてきた T-GAP の指導の延長で JGAP 認証が容易に取得できるようになります。JGAP は茶業界の生産側・買手側の両方が集まって作成した業界標準 GAP ですので、今回 T-GAP+J の同等性認証が認められると、T-GAP を実践している静岡県内の農場にとって大きな利点になります。もともと静岡県は最も茶の JGAP 認証が多い県（7 茶工場 310 農場）ではありますが、静岡県で多く導入されている T-GAP と JGAP のつながりが同等性認証で明確になったことにより、JGAP 認証の取得と T-GAP 普及の両方が大きく推進されます。

***T-GAP の特徴**

- ・（公社）静岡県茶業会議所、静岡県、JA 静岡経済連による T-GAP 推進協議会が作成。
- ・ 各 JA が指導・評価し、（公社）静岡県茶業会議所が承認する指導制度をとっており、これまでに既に 243 工場が承認（1 級から 3 級の合計）されています。

NEWS RELEASE

*JGAP と他の GAP との同等性認証について

現在、日本には都道府県や JA 部会で策定された GAP など 100 を超える種類の GAP があります。これは、世界的に見ても特異な状態にあります。GAP は産地の品質管理体制を整え、その信頼性を確認するために各国で発展してきているものであり、一般的には一つの国で 1-2 種類というのが一般的です。日本ではレベルの低い GAP と高い GAP が玉石混淆の状態にあり、産地の信頼性をアピール・判断するために利用し難い状態になっています。2009 年以降、農林水産省は「農業生産工程管理 (GAP) の共通基盤に関するガイドライン」を発表し、存在する多種多様な GAP を高いレベルでそろえる働きかけを行っており、一定の効果を得つつあります。同省による平成 24 年 3 月の調査では、47 都道府県のうち独自の GAP を策定している都道府県が 34 あり、そのうち 22 がガイドラインに対応しました。

流通事業者・加工業者が産地に要求する GAP や産直・PB 取引基準も多様なものがありましたが、2006 年に日本 GAP 協会が設立され、農業界・流通業界が協働で業界標準 GAP として JGAP 基準を作成し、第三者認証制度を整え、一定の調和が図られつつあります。JGAP は前述の農林水産省のガイドラインにも対応しています。

このような経緯の中、今も 100 以上ある多様な GAP の中には JGAP との関連性をうたうものが登場してきています (例: 「JGAP を参考に作成」 「JGAP に向けた足がかりとして」)。このような状況を受け、GAP の作成者・農業者・流通業者の利便性を高め、GAP の農業現場での活用を促進するために、「JGAP と他の GAP との同等性認証」の制度を 2013 年 5 月に開始しました。

JGAP 以外の GAP 基準の著作権者が日本 GAP 協会に申請することで、正式に JGAP 基準との同等性を確認する制度です。その過程ではパブリックコメントも募集し、オープンな中で基準が JGAP と同等レベルであるか判断されます。JGAP 同等性認証を得た GAP 基準を生産者・団体・JA が導入することで、JGAP 認証を得ることも可能になります。

制度の詳細は、「JGAP 総合規則 2013」および「JGAP と他の GAP との同等性認証に関する細則」をご覧ください (ホームページ: <http://jgap.jp/>)。

*関連するプレスリリース

2013 年 5 月 30 日プレスリリース

「都道府県 GAP 等を利用して JGAP 認証の取得が可能に! 「JGAP と他の GAP との同等性認証」の制度がスタート」

http://jgap.jp/JGAP_News/NewsRelease130530JGAP_GAP_doutousei.pdf

問合せ先: 横溝 TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: info@jgap.jp

(取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。)

御社名

部署名

御名前

住所

電話番号